

丹波市

地域おこし

協力隊

地域おこし協力隊の活動を報告します

環境保全や自然教育に取り組む

尾形 真依子さん vol.49

経歴：兵庫県三田市出身。東京で営業職を経験後、子育てを機に自然に魅せられて丹波市へ移住。

任期：令和3年10月～



周りの方のサポートをいただきながら、令和4年4月から「しぜんたいけんプログラム」を実施しています。これまでに市内のこども園、幼稚園、小学校、子育て学習センターなど総勢約300人の子どもたちや先生、保護者と「しぜんたいけん」を実施しました。

「しぜんたいけん」では、川遊びや普段何気なく通る道に生えている雑草を使った遊びを通して、身近な自然に目を向けて遊ぶきっかけを伝えています。採取してきた昆虫を拡大し、一緒に観察する企画では昆虫の普段見ることができない部分をじっくりと観察することができ、子どもたちの中でもたくさんの気づきが生まれていました。体験を通して見せてくれる子どもたちの目の輝きや夢中になる姿がとても印象的です。丹波市の豊かな自然は心も豊かにしてくれますね。

「しぜんたいけん」は秋にも子育て学習センター氷上・柏原・山南で実施予定です。日頃テレビを見たり、ゲームをする時間が多く、興味はあるけれどあまり自然の中に行かないという人や、虫が怖い・嫌いという人はぜひ一度来て欲しいです。

また、今後は自然遊びの情報や自然保護の情報などについてホームページで配信を予定しています。たくさんの方に教えていただきながら、丹波市の自然を知るきっかけとなる活動ができるよう引き続き精進していきます。



昆虫を拡大し、こども園の園児たちと一緒に観察する尾形さん

市長・林時彦の
時を駆ける

大河ドラマがつかないだ 「足立氏」の縁



先月号の私のコラムでお伝えしていた、大河ドラマ「鎌倉殿の13人」で足立遠元役を務める大野泰広さんのトークショーが、9月3日に開催されました。トークショーでは、大野さんからドラマのまどろみどころや撮影の裏話などをたくさん披露していただき、大いに盛り上がりました。「何らかの形で、引き続き丹波の魅力を発信し続けていきたい」との嬉しい言葉もいただきました。

大野さんはトークショーのほかに、遠元と息子の遠光の供養塔や、孫の遠政の墓などを参られ、早朝には私と一緒に黒井城跡にも登りました。美しい日の出と雲海を見てもううことができて、大河ドラマがつかないだご縁から、丹波市の魅力を存分に味わってもらうことができました。

ところで、全国の都道府県で兵庫県は最も「足立姓」が多く、県内では丹波市が最多です。なかでも青垣地域に多く目立つ理

由は、遠政が佐治庄に地頭として武蔵国足立郡(現在の埼玉県)から赴任し、青垣町山垣に山垣城を築いて統治したためと考えられています。今回の大野さんの来丹は、大河ドラマをきっかけに地域を盛り上げようと足立姓のゆかりの地がある遠阪自治協議会が企画し、実現したものです。さらにこの盛り上げりを絶やさぬよう、11月13日に「全国の足立さん集まれ祭り」を開催します。丹波市出身のソプラノ歌手である足立さつきさんや、ピアニストの足立知謙さんも出演予定です。足立さんでなくても参加可能とのことですので、大河ドラマがつかないだご縁と勢いを、一緒に盛り上げていきましょう。



大野さんと黒井城跡で記念撮影

丹波市長
林 時彦